

飼料用米の次は酪農家で稲WCSを

6月24日、中丹牛群検定組合総会において、当センターから「稲発酵粗飼料(WCS)を活用して水田と結びつけた酪農経営をしませんか」と題して、WCS用イネの新品種の紹介、活用事例等について講演を行いました。

稲WCSに含まれる糖分含有量や栽培拡大の課題などの質問が寄せられ、関心の高さがうかがえました。今後、稲WCSを飼料用米に続く水田飼料作物として推進し、飼料自給率の向上と農村風景の保全につなげたいと考えています。



稲WCSの活用方法について講演